

選択したシラバスのプレビュー画面です

平成28 年度

[↑ 操作ボタン](#)

講義科目名称 : 国際協力論

授業コード : 52044

英文科目名称 : ---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
後期	講義	2単位	
曜日時限			
後期: 金曜2限			
配当学科・学年			
人社2			
担当教員			
岩崎 裕保			

授業テーマ	地球的諸課題に対して国際協力は何をなしうるのかを考える。
講義概要	国際協力によって環境・開発・人権・平和などの課題にどのような取り組みが行われているのか、政府や企業そして市民社会など多様なアクターの働きについて学ぶ。
到達目標	国際協力に関わるそれぞれのアクターの可能性と限界について知る。
評価方法	1) (授業ポートフォリオを含む) 平常点60% 2) 期末試験40%
評価基準	1) 準備学習、質問や意見表明など授業への積極的参加 (可) 2) 「講義目標」に関わって自身の考えを述べる事ができる (優・秀)
テキスト	使用しない。
参考書	必要に応じて紹介する。
履修上の注意	講義形式であってもできるだけ双方向のやり取りを大事にしたいと思っておりますし、ワークショップを行うこともありますので、学生諸君の積極的な参加を期待します。
準備学習	社会の動きを扱う講義ですから、受講生自身がそれに関心を持って講義に臨むことが期待されています。各回ごとの内容に関してさまざまなメディアを用いて情報を得ておいてください。
オフィスアワー等	講義後の時間を利用して対応します。
備考・メッセージ	learn/unlearn/relearnのプロセスと大切にしましょう。

授業計画						
回数	授業形態	担当教員	授業内容	到達目標		
1	講義	岩崎	はじめに	受講動機を明らかにし、講義に対する姿勢を確かめる。		
2	講義	岩崎	国際協力の歴史	国際協力はいつから誰が関わってきたのかを理解できる。		
3	講義	岩崎	南北問題	経済の格差を実感できる。		
4	講義	岩崎	国際協力と開発Ⅰ (映像視聴と議論)	何のため、誰のための協力かについて理解できる。		
5	講義	岩崎	国際協力と開発Ⅱ (映像視聴と議論)	何のため、誰のための協力かについて説明できる。		
6	講義	岩崎	援助する前に考えようⅠ (ワークショップ)	援助の意味を考えることができる。		
7	講義	岩崎	援助する前に考えようⅡ (ワークショップ)	ニーズ把握など調査方法を理解できる。		
8	講義	岩崎	援助する前に考えようⅢ (ワークショップ)	さまざまな開発プロジェクトの意味を理解できる。		
9	講義	岩崎	【発表】関西の国際協力団体	調べたことを報告できる。		
10	講義	岩崎	公害から共生へ	問題の乗り越え方を理解できる。		
11	講義	岩崎	フェアトレードⅠ	フェアトレードが生まれる背景を理解できる。		
12	講義	岩崎	フェアトレードⅡ	フェアトレードや倫理的な消費について説明できる		
13	講義	岩崎	非核のための世界法廷プロジェクト (映像視聴と議論)	非核に向けた国際社会の動きの一端を実感できる。		
14	講義	岩崎	市民とボランティア			

				市民とはそしてボランティアとは何か、そして市民社会の動向を説明できる。		
1 5	講義	岩崎	まとめ	国際協力のさまざまなアプローチについて意見を述べる ことができる。		

授業方法						
	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)	
	講義	教室	1	随時、資料を配布し、視聴覚教材も用いる。	90分×15	

閉じる